

國際觀光學研究科

研究指導概要

博士前期課程

1. 各セメスタの指導内容

学生は、指導教授と密接に連絡をとりながら、履修指導ならびに研究指導を受けなければならない。なお、各セメスタにおける指導内容は以下である。研究発表会については、4月入学の場合で記述しており、秋入学の場合には、1セメスタずれることになる。

1 セメスタ

主副指導教授を決定し、研究テーマを選定、それに基づいて必要な調査、研究手法研究計画を立案する。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（5月末）および期末（7月末）発表会での研究進捗報告を行う。

2 セメスタ

指導教授から進捗状況に応じた指導を受けながら、主として調査、研究を行う。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（11月末）及び期末（1月末）発表会での研究進捗報告を行う。

3 セメスタ

調査、研究したデータ等を分析して、とりまとめを行う。

学会、学内紀要等への投稿も奨励する。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（5月末）および期末（7月末）発表会での研究進捗報告を行う。

4 セメスタ

修士論文を執筆。場合に応じては、追加の調査や研究を行う。学会、学内紀要等への投稿も奨励する。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

修士論文提出（1月上旬）、口述試験（1月下旬）、修了者発表（2月上旬）

（秋入学：修士論文提出（7月上旬）、口述試験（7月下旬）、修了者発表（9月上旬））

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

学生の研鑽の場、学生相互の交流の場として、各セメスタにおいて中間と期末、2回の研究発表会を行う。研究発表会は毎回参加し、研究の経過や成果をすべての教員の前で報告する。

詳細は、適宜専攻から配布される資料を参考にすること。

3. 特定課題研究論文

社会人学生に対しては、修士学位論文に代えて特定課題研究論文の提出を認めている。特定課題研究論文とは、特定の課題について実践的に調査・研究した論文であり、下記の3つの要件を予め満たしている必要がある。

- ① 学会における口頭発表論文が1本以上あること。
- ② 専門誌などにおける論文発表が1本以上あること。
- ③ 授業科目等について32単位以上取得していること。

※①②については本人の貢献箇所について提出時に明らかにすること。

なお、特定課題研究論文を選択する学生は、最終セメスタ時に指導教員の下承を得た上で申告しなければならない。

実践的に調査・研究した特定課題研究論文の審査基準は、修士論文に準じる。

博士後期課程

1. 各セメスタの指導内容

学生は、指導教授と密接に連絡をとりながら、履修指導ならびに研究指導を受けなければならない。なお、各セメスタにおける指導内容は以下である。研究発表会については、4月入学の場合で記述しており、秋入学の場合には、1セメスタずれることになる。

1 セメスタ

主副指導教授を決定し、研究テーマを選定、それに基づいて必要な調査、研究手法研究計画を立案する。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（5月末）および期末（7月末）発表会での研究進捗報告を行う。

2 セメスタ

指導教授から進捗状況に応じた指導を受けながら、主として調査、研究を行う。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（11月末）及び期末（1月末）発表会での研究進捗報告を行う。

3 セメスタ

指導教授から進捗状況に応じた指導を受けながら、主として調査、研究を行う。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（5月末）及び期末（7月末）発表会での研究進捗報告を行う。

学術誌・紀要への投稿、国内外での学会発表を行う。

4 セメスタ

調査、研究したデータ等を分析して、とりまとめを行う。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（11月末）及び期末（1月末）発表会での研究進捗報告を行う。

学術誌・紀要への投稿、国内外での学会発表を行う。

5 セメスタ

引き続き調査、研究したデータ分析や取りまとめを中心に行う。

履修指導に基づき必要な授業を履修する。

中間（5月末）及び期末（7月末）発表会での研究進捗報告を行う。

修了要件の合致に向けて学術誌・紀要への投稿、国内外での学会発表を行う。

博士論文を作成する。

6 セメスタ

修指導に基づき必要な授業を履修する。

必要に応じて、追加の調査や研究を行う。

博士論文を提出する。

主査・副査を選定し、審査委員会が発足する。1回目（11月末）、2回目（12月末）（秋入学：1回目（6月末）、2回目（7月中旬））、場合により以降3回以上開催する。

博士公聴会（1月末）、審査結果発表（3月中旬）を行う。

（秋入学：博士公聴会（7月末）、審査結果発表（9月中旬））

2. 論文報告会（論文発表会）等の概要と発表の要件等

学生の研鑽の場、学生相互の交流の場として、各セメスタにおいて中間と期末、2回の研究発表会を行う。研究発表会は毎回参加することが義務付けられ、学生は研究の経過や成果をすべての教員の前で報告する。

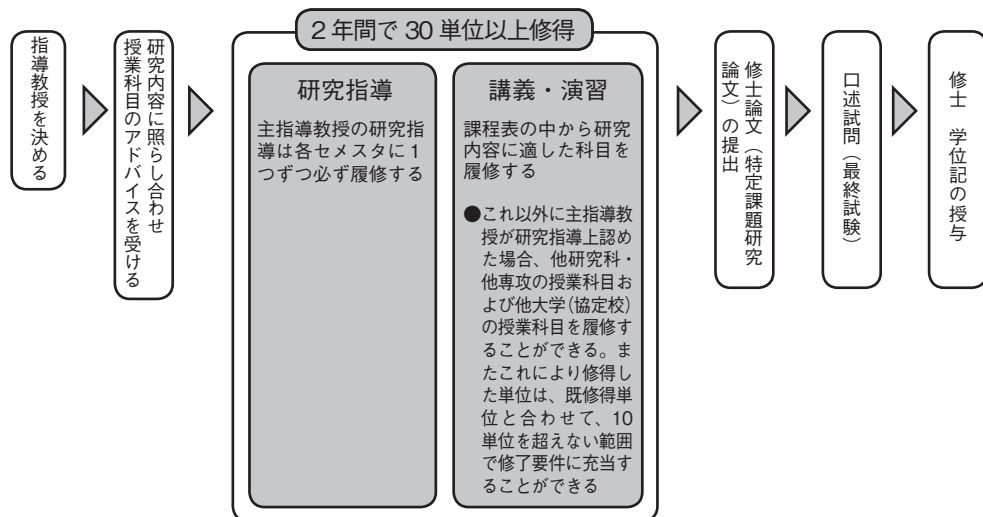
ここでは、指導教授以外からも研究内容に関する質疑応答が行われるため、様々な角度からの

質問に答えられる能力を養うことが可能となる。加えて、学生間でもお互いの研究内容を知ることで切磋琢磨しあう。詳細は、適宜専攻から配布される資料を参考にすること。

国際観光学専攻

前期課程

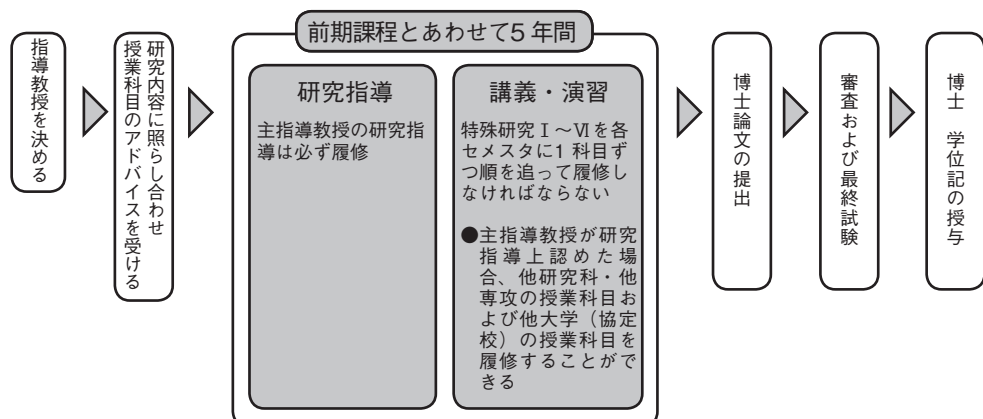
履修の流れ



特定課題研究論文を修士学位論文に代える場合は2年間で32単位以上修得

後期課程

履修の流れ



国際観光学専攻

博士前期課程

区分	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	開講状態		職名	担当教員	備考
					学期	Eng.			
研究スタートアップ科目	地域経営特論 Advanced Theory of Regional Administration	講義	2	PFP601	春		教授	和田 尚久 Naohisa Wada	
	旅行産業特論 Advanced Theory of Travel Industry	講義	2	TOS605	秋		教授	野村 尚司 Shoji Nomura	
	観光政策特論 Advanced Theory of Tourism Policy and Planning	講義	2	TOS613	春		准教授	矢ヶ崎 紀子 Noriko Yagasaki	
	観光資源特論 Advanced Theory of Tourism Resource	講義	2	TOS609	春		教授	東海林 克彦 Katsuhiko Shoji	
	サービス経営特論 Advanced Theory of Service Management	講義	2	MAN601	春		教授	飯嶋 好彦 Yoshihiko Iijima	
	ホスピタリティ・マネジメント特論 Advanced Theory of Hospitality Management	講義	2	CME601	秋		准教授	徳江 順一郎 Jun-ichiro Tokue	
	観光文化特論 Advanced Theory of Tourism and Culture	講義	2	TOS619	秋	●	非常勤講師	ポグゲンドルフ ローレンツ Poggendorf Lorenz	
	日本歴史観光資源特論 Advanced Theory of Tourism Resource in Japanese History	講義	2	TOS605	春		教授	須賀 忠芳 Tadayoshi Suga	
専門科目	国際交通経営特論 Advanced Theory of International Transport Management	講義	2	MAN601					本年度休講 隔年開講
	エアラインサービスマネジメント特論 Advanced Theory of Airline Industry Service Management	講義	2	TOS606	秋	●	教授	島川 崇 Takashi Shimakawa	
	不動産法特論 Advanced Theory of Real Estate Law	講義	2	CIL601	春		准教授	松永 光雄 Mitsuo Matsunaga	
	美術館経営特論 Advanced Theory of Art Museum Management	講義	2	SHS601	秋	●	准教授	増子 美穂 Miho Masuko	
	観光学教授法 Tourism Teaching Methodology	講義	2	TOS607	春		教授	島川 崇 Takashi Shimakawa	
	観光教育法特論 Advanced Theory of Teaching Methods of Tourism Education	講義	2	SOE601	秋		教授	須賀 忠芳 Tadayoshi Suga	
	都市観光システム特論 Advanced Theory of Urban Tourism System	講義	2	TOS611	春		教授	古屋 秀樹 Hideki Furuya	
	環境保全特論 Advanced Theory of Environmental Conservation	講義	2	EPS601	春	●	准教授	藤 稿 亜矢子 Ayako Toko	
	観光開発特論 Advanced Theory of Tourism Development	講義	2	TOS609	秋	●			開講予定
	観光まちづくり特論 Advanced Theory of Regional Tourism Development	講義	2	TOS615	秋		客員教授	丁 野 朗 Akira Chono	
	地域創造手法特論 Advanced Theory of Regional Innovation Methodology	講義	2	ECP601	春		客員教授	丁 野 朗 Akira Chono	
	観光による地域再生特論 Advanced Theory of Regional Revitalization by Tourism	講義	2	TOS611	秋		准教授	佐野 浩祥 Hiroyoshi Sano	
	観光情報マネジメント特論 Advanced Theory of Tourism Information Management	講義	2	TOS612	秋	●	教授	中 挾 知延子 Chieko Nakabasami	
	ツーリズム・カルチュラルコミュニケーション Tourism Cultural Communication	講義	2	TOS613	春	●	教授	中 挾 知延子 Chieko Nakabasami	
	世界遺産特論 Advanced Theory of World Heritage	講義	2	TOS614	春	●	非常勤講師	ポグゲンドルフ ローレンツ Poggendorf Lorenz	
	日本事情特講 Special Lecture on Japanese Affairs	講義	2	TOS615	秋	●	教授	市田 せつ子 Setsuko Ichida	
	ヨーロッパと旅の思想 Europe and Thoughts on the Travel	講義	2	TOS616	春	●	教授	市田 せつ子 Setsuko Ichida	
	観光人類学特論 Advanced Theory of Tourism Anthropology	講義	2	TOS617	秋	●			開講予定
	観光・ホテル事業特論 Advanced Theory of Hotel and Tourism Industry	講義	2	TOS607	春		准教授	徳江 順一郎 Jun-ichiro Tokue	
	統合型リゾート特論 Advanced Theory of Integrated Resort	講義	2	TOS621	春		准教授	佐々木 一彰 Kazuaki Sasaki	
	温泉リゾート特論 Advanced Theory of Hot-Spring Resort	講義	2	TOS620	春				本年度休講 隔年開講
	観光産業のレベニューマネジメント特論 Advanced Theory of Revenue Management of Tourism Industry	講義	2	TOS621	秋		准教授	吉岡 勉 Tsutomu Yoshioka	
	国際観光マーケティング特論 Advanced Theory of International Tourism Marketing	講義	2	TOS622	春		教授	佐々木 茂 Shigeru Sasaki	

区分	授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	開講状態		職名	担当教員	備考
					学期	Eng.			
国際観光開発分野	国際観光応用学特論 Advanced Theory of Practical International Tourism	講義	2	SEM602			島川、東海林、和田、佐々木（一）、 藤稿、矢ヶ崎		※
	国際観光応用学演習Ⅰ～Ⅳ Seminar on Practical International Tourism I-IV	演習	2	SEM603 SEM604 SEM605 SEM606					
研究指導	国際観光学研究指導 Special Lecture for International Tourism Studies			REG601 REG602 REG603 REG604			〔指導教員〕 飯嶋、佐々木（茂）、島川、東海林、須賀、 中挾、野村、古屋、和田、増子、 佐々木（一）、佐野、藤稿、徳江、 矢ヶ崎、吉岡		

※メディアを利用して行う授業科目

修了に必要な単位等

- (1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。ただし、東洋大学大学院学則第12条の特定の課題についての研究成果により審査を受けようとする者は、修了要件となる科目で32単位以上修得すること。
- (2) 主指導教授の「国際観光学研究指導」を、毎セメスタ必ず履修・単位修得すること。
 - ① 1セメスタから順番に毎セメスタ履修し、単位修得すること。長期履修学生および原級生で5セメスタ以上在学する場合（1～4セメスタ修得済み）は再度4セメスタを履修すること。
 - ② 修得した単位は8単位まで修了要件として認められる。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
 2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。
 3. 「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位取得することができる。ただし、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
 4. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。
- また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。
5. 「国際観光応用学特論」および「国際観光応用学演習Ⅰ～Ⅳ」はJICA ボランティア派遣者のみ履修することができる。

国際観光学専攻 博士前期課程 英語による授業について

表中「Eng.」欄に「●」が記されている科目は英語での授業を行います。

JICA ボランティア派遣期間中の履修方法について

1. 派遣後最初のセメスタで国際観光応用学特論 2単位
国際観光応用学演習Ⅰ 2単位を履修・修得する
2. 派遣後2セメスタ以降は、国際観光応用学演習Ⅱ～Ⅳを順番に履修・修得する。
3. 履修方法1および2での修得単位は、最初の1回目のみ 合計10単位までを修了要件として認めることができる。
4. 派遣期間中、主指導教授の「国際観光学研究指導」は、毎セメスタ必ず履修すること。履修するセメスタは、通学期間中の履修・単位修得したものも含めて1セメスタ～4セメスタまで順番に履修すること。長期履修学生および原級生で5セメスタ以上在学する場合は（1～4セメスタ修得済み）は再度（4セメスタ）を履修すること。修得した単位は8単位まで修了要件として認められる。
5. 派遣期間を除く通学期間は、最低1年以上とする。

博士後期課程

授業科目・研究指導	講義・演習の別	単位	科目ナンバリング	担当教員
国際観光学特殊研究Ⅰ Specialized Research on International Tourism Studies I	演習	2	SEM701	飯嶋、佐々木（茂）、島川、東海林、中挾、野村、古屋、和田、佐々木（一）、佐野、藤稿、徳江、梁
国際観光学特殊研究Ⅱ Specialized Research on International Tourism Studies II	演習	2	SEM702	
国際観光学特殊研究Ⅲ Specialized Research on International Tourism Studies III	演習	2	SEM703	
国際観光学特殊研究Ⅳ Specialized Research on International Tourism Studies IV	演習	2	SEM704	
国際観光学特殊研究Ⅴ Specialized Research on International Tourism Studies V	演習	2	SEM705	
国際観光学特殊研究Ⅵ Specialized Research on International Tourism Studies VI	演習	2	SEM706	
国際観光学研究指導 Special Lecture for international Tourism Studies			REG701	飯嶋、佐々木（茂）、東海林、中挾、古屋、梁、和田

修了に必要な単位等

- (1) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
- (2) 「国際観光学特殊研究Ⅰ～Ⅵ」は、各セメスタに1科目ずつⅠから順を追って履修すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。
3. 本表に掲げたものの他、指導教授が研究指導上必要と認めた場合は、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる。